

## ファッションにも挑む、 次世代グラフィック。

新風のように現れたハンナ・ボニエールの作品に出合ったのは、昨年秋。毎年街をあげて行われるデザインイベントの展覧会場でのアダだった。そこ自らしのは、とても不思議な自分探しの本。

「自分って何?という問いかけ」、彼女は思いつくり限りのデータ(生年月日やバスポート番号、DNAのデータまでも)をソフトと、その無味乾燥な数字や記号を美しくグラフィックで表現した。本の表紙は謎のアップ、中は官能的な身体の真をリズミカルに織り交せた絶妙な構成。彼女はの「世で、グラフィックの壁出しと機能とを誇り、また高い分析力と構成力をもたせり」と印象を記していった。

### 高層ビル風「サンダル」?

2年前、自由を求めて解放的な雰囲気のアメリカデルタに引っ越し、またハンナの祖國をさほど「ニューヨーク・ミニマニケーション・デザイナー」。その仕事も多くは、コトポエトデザインや本の本の装丁、ウェブ

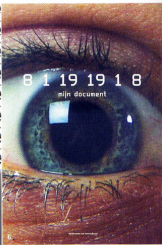
サイトを明快なグラフィックでデザインで表現すること。しかし彼女の独創性と鋭い洞察力は、ほかの領域でも関心を活している。イタリアのファッションブランド「アレグロ」には、傘を知りた組み合わせを苦心いっばのプリント地を提案、それは傘やショールとして商品化された。またモダン建築のようなサンダルには、高層ビルをイメージした幾何学風のプリント地をあれは、前衛的なファッション感覚を打ち出して話題をよんだ。

「デザインはコミュニケーションを生み出すもの。そして機能と追求し、同時に心琴線解れてユーザーを巻きこめること。ハンナ、見る人の知性と感性をバランスよく刺激する彼女の魅力は、ファッション、またインテリアや空間デザインとも相性がいいはず。頭脳明敏な彼女なら、グラフィック・デザインを家具や内装、あるいはインテリアと美しく組み合わせる方法も思いがたらく。そんな彼女の才能に、多くの業界が熱い関心を向けている。

www.hnnh.nl

# DESIGN SNAP @ Amsterdam

デザインスナップ@アムステルダム 文・ユイ キヨミ 写真・ミヌス・ファン・デル・ボーム



1.ハンナは名門、アイトトワーフェン・デザイン・アカデミー出身。国際的に活躍するグラフィックデザイナーの多くの同窓生だ。2.卒業制作だったアニメーションの一場面。3.最初のデザイン・トレンドを総合する本「デザイン・スナップ」。依頼者はハンナの最新なデザインを総覧した。4.デジタルプリントに制作した命のプリントデザイン。5.デザインイベント開催会場。手前は真っ赤なベロを写した「自分分析の本」。6.「自分分析の本」は謎のアップが表紙。タイトルは18 1 19 19 1 8。マイドキュメント。7.高層ビル風プリント地をもったサンダルは「コナティッド・スヌード」06年春夏コレクションより。